

令和4年1月25日

寒い日が続きますが、子ども達は外で遊ぶことを楽しみにしています。雪が降り積もった日も、待ちきれない様子でした。雪に寝転がる子を見て、同じように寝転がる赤組の子ども達。楽しそうなことは“自分でもやってみる”の気持ちが伝わってきます。このようにして自分なりに感じ、その体験が今後の“ひらめき”につながっていくのだらうと思います。霜柱や氷など、冬ならではの自然にも目を向け、子ども達の興味を広げていきたいです。



こんな遊びをします

いろいろな友達と一緒に楽しむ

- お話の登場人物になって表現遊びを楽しむ。
- 鬼ごっこをして、友達や先生と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 鬼の登場する絵本や紙芝居を見たり、鬼のお面を作ったりする。
- 豆まきをする。
- 氷を見つけたり、雪遊びをしたりする。

身の回りの始末を自分でする

- 戸外から帰ったら、袖をまくり、手洗いをする。
- 手洗後はタオルでしっかり拭く。
- ジャンパー、手袋などの始末をする。

こんな歌を歌います

- 豆まき
- コンコンこやま
- コンコンクシャンのうた

着替えや防寒着に記名をお願いします！

園に置いておく着替えや、汚れた物をいれるビニール袋の準備をありがとうございます。
スパッツや靴下、防寒着などにも、分かりやすく記名をお願いします。



豆まき 2月3日(木)

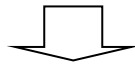


節分は、1年の節目とされ、春を迎える前に厄（鬼）を払う行事をします。園でも、自分で作ったお面をかぶり、園庭で豆まきをします。泣き虫鬼やわがまま鬼、いやいや鬼など…元気いっぱい豆まきをして、心の中から追い出したいと思います。



先日、「あいさつパワー」という紙芝居を読みました。「赤組のみんなも言えるといいね。」と話して帰りました。次の日、「おはようございます。」と元気にあいさつしたAさん。その元気な声を聞いて、「おはよう！」がたくさん聞こえてきました。

帰りの会で、午前も午後も凧あげや、鬼ごっこなどでいっぱい体を動かして遊んでいたことを振り返り、「どうしてそんなに元気に遊ぶことができたのかな？」と尋ねたところ、「あいさつパワーだからだよ。」とBさん。それから、少しずつ赤組にも元気なあいさつが聞こえてくるようになりました。



紙芝居の内容がわかり、自分もお話の世界に入って楽しんでいるのが伝わってきました。あいさつが1日の元気のパワーになると気づいたことで、あいさつの大切さもわかったようです。あいさついっぱいの赤組となって、1日1日を十分楽しんで過ごしていきたいと思います。



保育発表会にむけて

『てぶくろ』のペープサートで、「いれて」「いいよ」のかけあいを楽しんでいた子ども達。今は、子ども達がお話に出てくる動物になって表現しています。桃組さんと一緒にすることも喜んでいきます。

また、手作りのマラカスやギターなどでリズム遊びを楽しんでいた子ども達が、カスタネットに挑戦しています。持ち方、鳴らし方を覚え、大きい組さんの気分を味わっています。

